

令和元年11月13日

法教育推進協議会教材作成部会委員 宮崎 三喜男  
(東京都立国際高等学校主任教諭)

### 法教育授業実践報告

(高校生向け法教育教材－ルールづくり－

指導案「合意形成を図ろう～どこに橋を作るべきか～」)

#### 1 実施日時

令和元年10月2日(水) 午後1時40分～午後3時30分(第6・7時限)

#### 2 実施校等

##### (1) 実施校

東京都立国際高等学校

##### (2) 学年

第3学年

##### (3) 教科等

公民科「現代社会」

##### (4) 指導者

同校主任教諭 宮崎 三喜男

#### 3 単元等

##### (1) 単元(学習指導要領における位置付け)

「民主政治の基本原則」

(高等学校学習指導要領)

公民科「現代社会」

##### (2) 現代社会と人間としての在り方生き方

###### ウ 個人の尊重と法の支配

個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。

##### (2) 目標

・法の支配とは、為政者による恣意的支配を排除し、合理的な議論に基づく統治を目指すものであることを理解し、法の支配と法治主義の違いを歴史的事実を踏まえて説明できる。

・国民の権利を守り社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保

障が必要であることや、公正な裁判のためには司法権の独立が不可欠であることを説明できる。

(3) 指導計画

1. 民主政治の成立と社会契約説
2. 個人の尊重と法の支配
3. 合意形成（本時）
4. ルール作り（本時）

4 本時

(1) 目標

自由で公正な社会の担い手として、課題の解決に向けて、自分自身で考え、その意見を積極的に分かりやすく述べたり、自分と異なる見解にも十分配慮して議論をしたりして、多様な意見・利害を公平・公正に調整して合意形成を図ることが、協働の利益を継続して確保するために大切であることを理解させる。

(2) 展開

進行 (所要)	内容	指導上の留意点
導入 (10分)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>「離島での生活で問題になることは何だろうか、考えてみよう」</p> </div> <p>①離島での生活をするにあたっての問題について検討する。</p> <p>②交通が不便, 医療環境が不十分, 高齢化や過疎化, 物価が高いなどを確認する。</p>	<p>①「離島」＝「不便」と生徒に悪い印象を与えないように、きれいな海岸等、離島の良い点を画像として提示してから、問題点について考えさせると良い。</p> <p>②離島で生活することを前提として考えさせられるように留意する。</p>
展開1  (10分)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>どの場所に橋を建設するのが望ましいか考えてみよう</p> </div> <p><b>【個人ワーク】</b></p> <p>①クラスを3つの立場に分け(A町, B町, C町), それぞれの立場から, 1案, 2案, 3案のどこに橋</p>	<p>①自分の町の利益だけでなく, 自分が他の町の住民の立場でも納得できるかどうかと指示を出し, 他の立場の者を説得できるような理由も</p>

	を建設したらいいかを検討する。	検討させる。
	<p>他の案を採用するとした場合、どのような条件であれば、譲歩することができるか、いくらまでなら負担できるかを考えてみよう。</p>	
(10分)	<p>②自分が希望した案が採用されなかった場合について検討する。</p> <p>【グループワーク】</p> <p>③A町、B町、C町、それぞれの班で議論をし、1案、2案、3案のどこに橋を建設したらいいかを、同じ立場で検討する。</p>	<p>②建設費用を負担した場合、他の公共サービスに回せる費用が削減されるなど、多くのデメリットがあることを提示するなど、安易に判断しないように留意する。</p> <p>③同じ立場の人の意見を聞き、自らの立場の主張を明確にする。</p>
	<p>他の町と話し合っ、橋の建設場所・建設費用の負担額を決めよう。</p>	
(15分)	<p>【グループワーク（第1ラウンド）】</p> <p>④A町、B町、C町からそれぞれ2名の計6人で1グループを作り、議論をする。</p>	<p>④自分が異なる町の立場になった時も納得できるような案にするよう努力する必要があることを示す。</p>
(10分)	<p>⑤一度、A～C町のグループに戻り、他のグループの意見を聞いたうえで、改めて1案、2案、3案のどこに橋を建設したらいいかを検討する。</p>	<p>⑤自らの主張を訴えるだけでなく、お互いが納得できる新たな提案も含めて考えられるように助言をする。</p>
(15分)	<p>【グループワーク（第2ラウンド）】</p> <p>⑥再度、A町、B町、C町からそれぞれ2名の計6人でグループを作り、各自が各立場の代表者となり協議を行い、橋の建設場</p>	<p>⑥資料等に基づいた議論を行い、他者の意見を真摯に聞き、時には自らの意見を変え、より良い意見を作っていくことが重要であることを補足する。</p>

	所, 建設費用の負担方法などに関する合意形成を図る。  ⑦メンバーを入れ替え, 再度議論を行う。	⑦違う結論となったグループ間でメンバーを入れ替えるなど調整をする。
まとめ (20分)	①発表 生徒に検討結果を発表させる。	①生徒の発表を聞き, 教員による講評を行う。

### (3) 実践報告

本授業を実践するに当たり留意した点は, 様々な視点(立場)から考えさせた上で, 合意形成を図るようにした点である。グループディスカッションを行う場合, 議論をリードする生徒の意見に引っ張られてしまう事例が多く見られるので, まずは個人でじっくり考える時間を確保するようにした。自らの意見を整理した上で, 同じ立場のメンバーと議論することで違った視点を取り入れ, その後に違う立場の人たちと議論を深めるように工夫をした。また合意形成は, 他者の立場や意見を尊重することが求められるため, 一度, A~C町のグループに戻り, 他のグループの意見を聞いた上で, 再検討をするという工夫を行った。このようなことを繰り返すことで, 多面的・多角的な視点を持つことができ, また合意形成のために必要な力が身に付くと考えられる。

以下は, 授業後に提出させた生徒の感想の抜粋である。

- ・一つの問題を解決するために相手との利害関係を踏まえて合意にたどり着くことは難しいと改めて感じた。
- ・「何が一番良いか」も大切だが, 「何が一番嫌なのか」を把握することが, 合意形成には必要なことだと思った。何事にもメリット, デメリットがある中で, メリットに固執してしまうと, 誰かの大きなデメリットが生じてしまう可能性がある。そういった面では, メリットが例え小さくてもデメリットがないのを選択することも必要だと思った。
- ・話し合うことで, さらにそれぞれの案のメリット・デメリットがはっきり見えてきた。普段自分たちが生活している中で, 何を優先しているのかという価値観が話し合いに入ってくるなと感じた。
- ・同じ町の人同士でも意見が分かれたため, 実際の場面では, 合意に至ったとしても住人の賛成が得られない可能性もあるかもしれないと思った。合意交渉のためには, 譲歩も必要だと気づいた。

課題としては, 時間の確保の問題がある。様々な立場のことを踏まえ, 深い議論を行うためには, どうしても一定程度の時間が必要となる。1グループ6人という設定から, 議論する時間は15分は必要であり, それゆえ本授業は2コマで実施した。

なお, 1コマにて授業を行う場合には, 導入部の「離島での生活で問題になる

ことは何だろうか、考えてみよう」を省略し、指導案上の展開1である「どの場所に橋を建設するのが望ましいか考えてみよう」を授業の導入から発問し、また、グループワークもラウンドを1回にて行わせるなど工夫をすれば実施が可能である。

(4) 参考資料（使用教材・資料、授業の様子・板書など）

ア 使用したスライド資料

別紙のとおり。

イ 授業の様子



5 参考：新学習指導要領における位置付け

新学習指導要領

公民科「公共」

A 公共の扉

(3) 公共的な空間における基本的原理

自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解すること。



### 離島の問題点は？

- 医療施設の不足
- 教育機関の不足(高校、大学)
- 流通問題(物資の不足、遅れ、物価が高い)
- 人口減少、高齢化問題

……などなど



【各町の中心部から市街地までの所要時間】

	A町	B町	C町
1案	40分	70分	90分
2案	45分	15分	95分 <sup>(※)</sup>
3案	100分	130分 <sup>(※)</sup>	50分
現状	90分	60分	140分

※ 山脈にトンネルを掘削した場合…2案・C町=45分、3案・B町=80分

### ドイツ・エルベ川周辺

